

「ひな人形の世界」

注目ポイント

- ◆ 徳島城博物館の春、恒例の展覧会となった「ひな人形の世界」を、今年も開催いたします（今回で24回目を迎えます）。
- ◆ 「立雛」「享保雛」「有職雛」「次郎左衛門雛」「古今雛」など、雛人形の各様式の変遷を通じて、現在にいたるまでの雛人形の歴史を紹介。
- ◆ 蜂須賀家の流れを汲む個人の方から寄贈いただいた、近代の雛人形と雛道具一式を初公開。
- ◆ 子どもたちに日本の伝統文化に親しんでもらうことを目的として「博物館で雛遊び」や「おひなさまに変身」等、恒例のイベントを開催。

会期

令和6年2月3日(土)～4月7日(日) 9:30～17:00(入館16:30まで)

徳島市立徳島城博物館 企画展の開催

<市長記者会見資料>

令和6年1月22日

教育委員会社会教育課

徳島城博物館

展覧会の詳細

- 1 会期 令和6年2月3日(土) ~ 4月7日(日)
午前9時30分 ~ 午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 2 休館日 毎週月曜日(2月12日は開館)、2月13日(火)、3月21日(木)
- 3 会場 徳島城博物館 企画展示室
- 4 出品数 約50点
- 5 入館料 大人300円
高校・大学生200円
中学生以下無料
(※20名以上の団体は2割引)



徳島城博物館

徳島市立徳島城博物館 企画展の開催

<市長記者会見資料>

令和6年1月22日

教育委員会社会教育課

徳島城博物館

主な出品資料

・内裏雛飾り（蜂須賀健之氏 寄贈）

10代藩主 蜂須賀重喜の子からはじまる徳島藩中老格で、千三百石を賜る蜂須賀山城家の末裔の方から、今年1月に寄贈いただいた近代の雛人形と雛道具一式を、初公開します。



雛道具

内裏雛

徳島市立徳島城博物館 企画展の開催

<市長記者会見資料>

令和6年1月22日

教育委員会社会教育課

徳島城博物館

主な出品資料

・五節句図 (徳島・春日神社 所蔵)

江戸時代後期、大坂で活躍した画人・田中秋亭が描き、公卿で歌人としても知られる千種有功が歌を寄せた五節句図。

七草＝人日、蛤＝上巳、菖蒲＝端午、梶鞠＝七夕、菊の着綿＝重陽の各節句を象徴するもので、五節句を表現しています。

上巳の節句(桃の節句)を象徴するハマグリ。
その斜め後ろには、七夕の節句で行われる蹴鞠の際、星にささげる梶の枝と鞠が描かれる。



徳島市立徳島城博物館 企画展の開催

<市長記者会見資料>

令和6年1月22日

教育委員会社会教育課

徳島城博物館

主な出品資料

・内裏雛図 (松久伊津氏 寄贈)

作者は、明治時代の徳島を代表する画人・森 魚淵。
徳島藩御用絵師である守住貫魚の弟子で、住吉派の
雅やかな、やまと絵を得意とした魚淵にふさわしい
雛人形図の優品です。



徳島市立徳島城博物館 企画展の開催

<市長記者会見資料>

令和6年1月22日

教育委員会社会教育課

徳島城博物館

関連イベント

おひなさまに変身

2月25日(日) 13:00~16:00

雛人形装束の着装体験。往復はがきによる申込みが必要 ※定員40人(抽選)、締切 2月16日(金)

博物館で雛遊び

2月15日(木)、16(金)、20日(火)~22日(木)、
27日(火)~3月1日(金) 10:00~12:00

幼稚園・保育園、その他、児童の団体を対象とした雛人形装束の着装体験と、企画展、ならびに特設大雛段の見学をお楽しみいただきます。 ※電話による申込みが必要

雛の煎茶会

3月3日(日) 10:00~15:00

お手前：煎茶道 徳島一茶菴流
お茶券は無料 (先着 100人)

展示解説

2月3日(土)、3月3日(日) 14:00~15:00

講師：徳島城博物館 学芸員



画像・・「有職雛(小直衣)」
(徳島城博物館蔵)

※いずれのイベントも参加費は無料、ただし入館料が必要です。

問い合わせ先 徳島城博物館(電話:088-656-2525)